

登録コード	E2534900	開講年度	2026			
授業科目	彫刻研究				担当教員	猪瀬 昌延
英文授業名	Study in Sculpture				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生
講義室	教育N 1 1 0		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				美術教育の重要性と可能性を理解し、多様化する彫刻表現を様々な視点から掘り下げるとともに今日的な造形表現の可能性を捉えることが出来るようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				彫刻表現を様々な角度から考察し、自分なりの彫刻観を構築できるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	様々な造形表現を時代や表現手法を横断的に理解するとともに、それらを彫刻的視点で考察することを通して各自の彫刻観を構築する。また、東西における造形技法と様式を理解することで、今日的な彫刻表現を試みる。					
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：彫刻表現 東洋彫刻と西洋彫刻 第 3 回： 近代彫刻から現代の彫刻まで 第 4 回：制作演習 キャスティング技法について 第 5 回： 原型制作（油土） 第 6 回： 石膏型制作 第 7 回： シリコン型制作 第 8 回： キャスティング 第 9 回：制作演習 素材研究 第10回： 支持体の制作 第11回： 湯道付けと埋没 第12回： 脱蠟と鋳込み 第13回： 鋳物の加工と修正 第14回：作品の仕上げと講評（授業アンケート） 作品提出 教育実習による欠席は、別途補講を行う。					
(6)成績評価の方法	課題作品の評価（80％）、授業への取り組みや学習状況20％を含め評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。					
(7)成績評価の基準	（ ）授業で示した用具及び素材の加工が適切であり、（ ）素材やその技法を効果的に生かし、（ ）基礎的造形性の把握ができており、（ ）その上で造形表現における楽しさを受講生同士で共感し（ ）作品に主題が表現されていることで教員を感心させるレベルであれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	前授業行った制作の続きと次授業までの制作到達目標の指示に従い、制作を進めてから授業に臨むこと。各回授業内に次授業で必要となる用具や素材の準備等に関して説明を行う。					
(9)履修上の注意	制作において作業に適した服装と材料費が必要となる。 修学状況に応じて授業時間外での制作が必要となる。 「第12回 脱蠟と鋳込み」は、集中授業で行う。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	研究室 北校舎N112, 連絡先 minose@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	特になし					
【参考文献】	「彫刻をつくる」建畠覚造ほか 美術出版（2400円） 「塑造への誘い」工藤健 多摩美術大学共同研究（10500円） その他作品集や技法書など随時紹介する。					